

2024年2月21日 全8頁

Indicators Update

2024年1月貿易統計

春節時期のずれの影響で輸出金額が上振れも内容は良くない

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2024年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+11.9%と2カ月連続で増加した。主因は春節が2月にずれ込んだ影響による中国向け輸出の上振れだ。他方、季節調整値では前月比▲3.6%と2カ月ぶりに減少した。輸出の実勢を示す輸出数量は軟調であり、とりわけ米欧向けが下振れした。輸入金額は前年比▲9.6%と10カ月連続で減少し、季節調整値では前月比▲10.5%となった。これを受け、貿易収支は▲1兆7,583億円と2カ月ぶりの赤字となった。他方、季節調整値では+2,353億円と32カ月ぶりの黒字に転じた。
- 1月の輸出数量は前月比▲4.7%と2カ月ぶりに減少した。米中向けの自動車関連財が減少したほか、欧州向けでその他の幅広い品目が減少した。地域別に見ると、米国向け（同▲11.5%）やEU向け（同▲6.6%）が大きめの減少幅となった一方、アジア向け（同+4.5%）は増加を維持した。
- 先行きの輸出数量は当面は横ばい圏で推移した後、年後半にかけて増加基調に転じるとみている。短期的には、自動車の挽回輸出の加速が一服したことに加え、米欧の景気減速もあって日本からの輸出は伸び悩むだろう。他方、シリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の改善による半導体関連財の需要回復は下支え要因となる見込みだ。なお、2月に限っては春節の影響で中国向けが足を引っ張り、輸出数量が下振れする可能性が高い。

【貿易金額】対中輸出額が急増し貿易収支（季節調整値）は32カ月ぶりの黒字に

2024年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+11.9%と2カ月連続で増加し、コンセンサス(同+9.5%、Bloomberg調査)を上回った(図表1)。主因は中国向け輸出金額(同+29.2%)の急増だ。春節が2月にずれ込み、1月の中国の営業日数が前年同月よりも3割程度多くなったことで、中国向けの輸出機会が増加した。また、春節前の駆け込み輸出も発生した可能性がある。これらに鑑みれば、中国向け輸出の増加幅は順当な水準であったと評価できる。

輸出金額全体の季節調整値は前月比▲3.6%と2カ月ぶりに減少した。輸出の実勢を示す輸出数量(大和総研による季節調整値、以下同)が同▲4.7%と下振れしたことが原因だ(図表2左)。前月の大幅増の反動が表れたほか、米欧向けの軟調さを中国向けの増加が補いきれなかった。総じてみれば、輸出の基調は力強さに欠ける印象だ。

輸入金額は前年比▲9.6%と10カ月連続で減少した。品目別では石炭(同▲43.2%)や液化天然ガス(同▲28.8%)などが減少した。また、中国からの電話機(同▲29.7%)の輸入減も下押し要因となった。なお、中東情勢の緊迫化の影響もあって原油及び粗油(同▲9.2%)のマイナス幅は縮小傾向にある。輸入金額全体の季節調整値は前月比▲10.5%と、輸入数量の下振れを主因に2カ月ぶりに減少した。

以上を受け、貿易収支は▲1兆7,583億円と2カ月ぶりの赤字となった。他方、季節調整値では+2,353億円と32カ月ぶりの黒字に転じた(図表3)。輸入金額が円安進行前の2022年1月以来の低水準となったことが主因だ。ただし、前述した春節のずれの影響で季節調整値に振れが生じている可能性には注意が必要だ。

図表1：貿易統計の概況

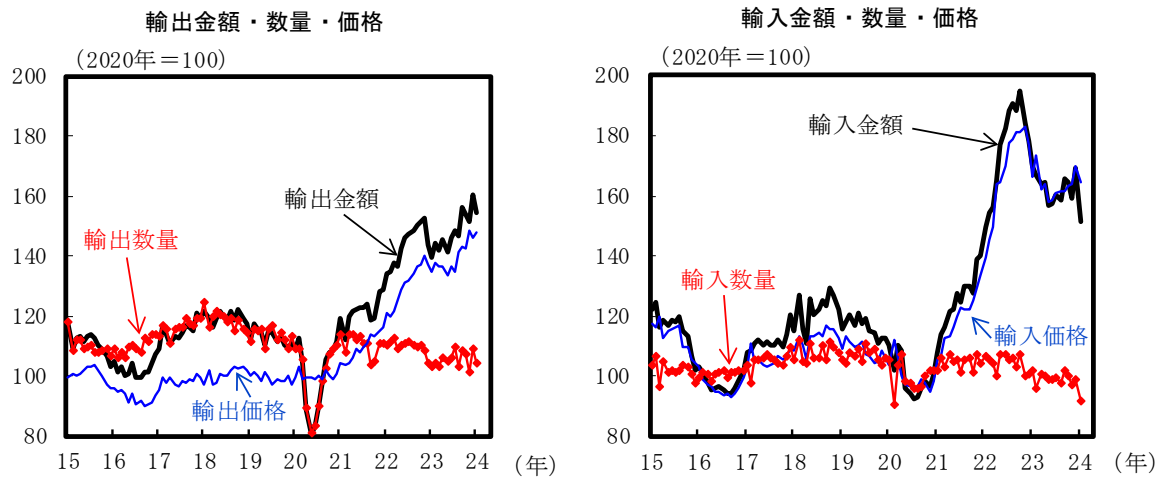
		2023年								2024年
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
原系列 前年比 %	輸出金額	0.6	1.5	▲0.3	▲0.8	4.3	1.6	▲0.2	9.7	11.9
	コンセンサス									9.5
	DIRエコノミスト予想									9.1
	輸入金額	▲10.2	▲13.1	▲14.1	▲17.6	▲16.5	▲12.4	▲11.8	▲6.9	▲9.6
	輸出数量	▲3.6	▲4.0	▲2.8	▲5.3	0.2	▲3.4	▲5.6	2.9	2.3
	価格	4.4	5.7	2.5	4.8	4.1	5.2	5.8	6.6	9.4
	輸入数量	▲6.6	▲7.6	▲6.2	▲9.0	▲3.9	▲3.2	▲3.4	▲3.1	▲8.4
価格	▲3.8	▲5.9	▲8.4	▲9.4	▲13.2	▲9.5	▲8.8	▲4.0	▲1.3	
	貿易収支(億円)	▲13,821	392	▲637	▲9,432	654	▲6,671	▲7,852	689	▲17,583
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	▲2.8	3.3	2.0	▲1.4	6.4	▲1.5	▲1.5	5.7	▲3.6
	数量	▲0.7	1.0	3.5	▲5.9	5.1	▲1.1	▲5.6	7.7	▲4.7
	価格	▲2.2	2.2	▲1.4	4.8	1.2	▲0.4	4.3	▲1.8	1.2
	輸入金額	▲4.8	0.4	1.9	▲1.3	4.5	▲0.4	▲3.3	6.2	▲10.5
	数量	▲1.4	0.2	0.4	▲1.7	4.5	▲1.6	▲3.4	2.3	▲7.5
	価格	▲3.4	0.2	1.5	0.4	▲0.0	1.2	0.0	3.9	▲3.2
		貿易収支(億円)	▲8,137	▲5,865	▲5,916	▲5,907	▲4,578	▲5,546	▲3,754	▲4,401
	税関長公示レート	135.31	139.24	142.32	142.23	146.44	148.88	150.34	146.92	143.95

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

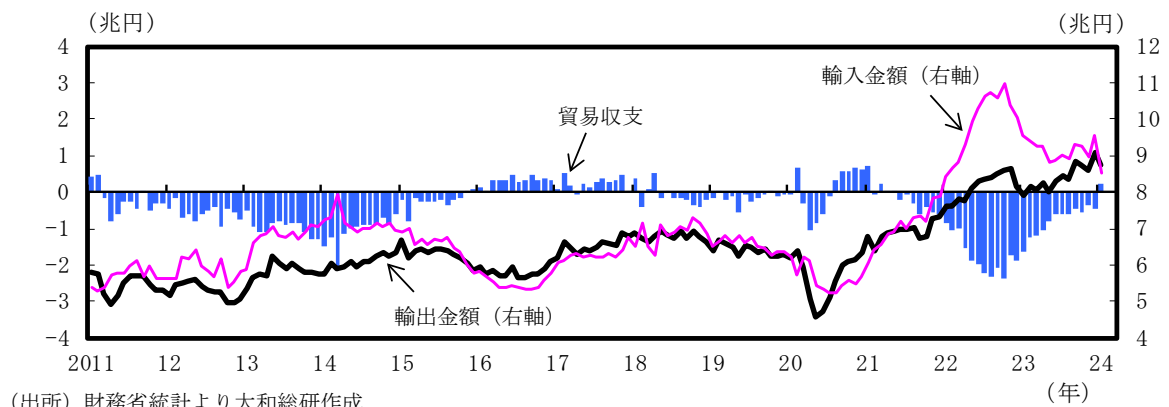
図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】春節の影響もあってアジア向けが上振れも米欧向けは軟調

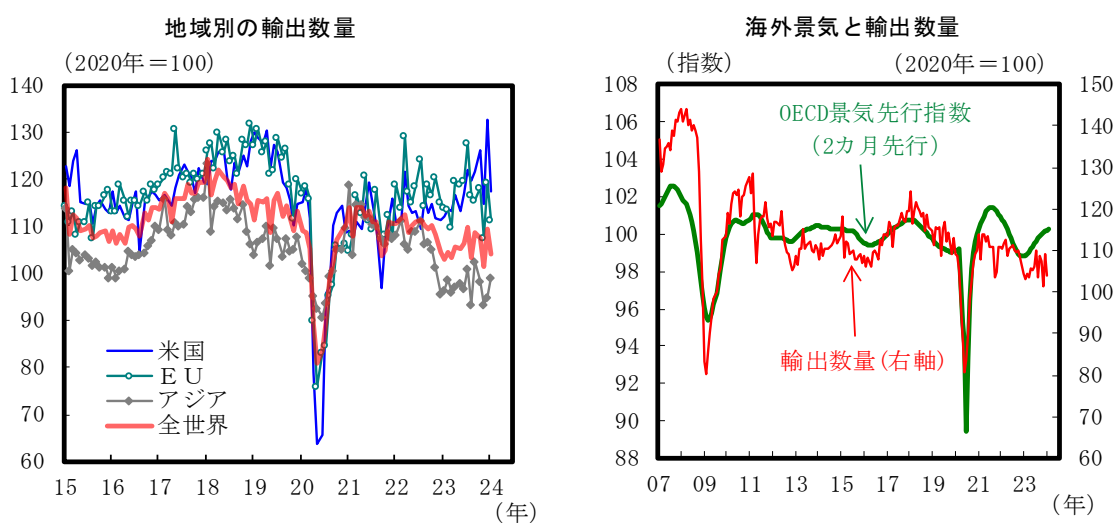
1月の輸出数量は前月比▲4.7%と2カ月ぶりに減少した。米中向けを中心に自動車や同部分品、原動機といった自動車関連財の輸出が減少したほか、欧州向けではその他の幅広い品目が減少した。前月はトヨタ自動車の国内工場の稼働再開で自動車輸出が大幅に増加したが、1月はその反動が表れたとみられる。地域別に見ると、米国向け（同▲11.5%）やEU向け（同▲6.6%）が大きめの減少幅となった一方、アジア向け（同+4.5%）は増加を維持した。

米国向けは2カ月ぶりに減少した。自動車輸出で前月の大幅増の反動が表れたが、それを差し引いて見ても水準は低い。半導体不足の緩和で挽回輸出が進んだ23年中の水準を大きく下回っており、挽回輸出の一服の兆しが見られる。その他の品目では、自動車の部分品や電算機類の部分品などの中間財が全体を押し上げた。

EU向けは2カ月ぶりに減少した。二輪自動車が急減したほか、医薬品、電算機類（含周辺機器）など幅広い品目が減少した。またプラスチックや非鉄金属などの中間財も減少した。中間財は前月の押し上げ要因だったが、これは在庫積み増しを背景とした動きであったとみられ、持続性はなかったようだ。他方、自動車輸出は小幅ながら3カ月ぶりに増加した。

アジア向けは2カ月連続で増加した。中国向けを中心に、半導体等製造装置や非鉄金属が好調だった。なお、中国向けの半導体等製造装置は2023年11月頃から輸出の押し上げ要因となっている。日本の輸出管理強化により最先端の装置の輸出が難しくなった一方、現地では生産ラインの切り替えを目的に汎用の装置の導入が進んでいるとみられる。他方、中国向け自動車輸出は減少に転じた。その他のアジア向けでは、鉄鋼やプラスチック、集積回路（IC）などの中間財輸出が全体を押し上げた。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はG20ベース。
 (注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。
 (出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】2月は中国向け輸出の大幅減に注意

先行きの輸出数量は当面は横ばい圏で推移した後、年後半にかけて増加基調に転じるとみている。短期的には、自動車の挽回輸出の加速が一服したことに加え、米欧の景気減速もあって日本からの輸出は伸び悩むだろう。他方、シリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の改善による半導体関連財の需要回復は下支え要因となる見込みだ。

なお、2月は中国向けが足を引っ張る形で輸出が下振れするとみている。春節のずれにより2024年2月の中国の営業日数は前年同月よりも2割少ない。1月と同様に営業日数に沿った動きとなる場合、中国向け輸出の大幅な減少は避けられないだろう。

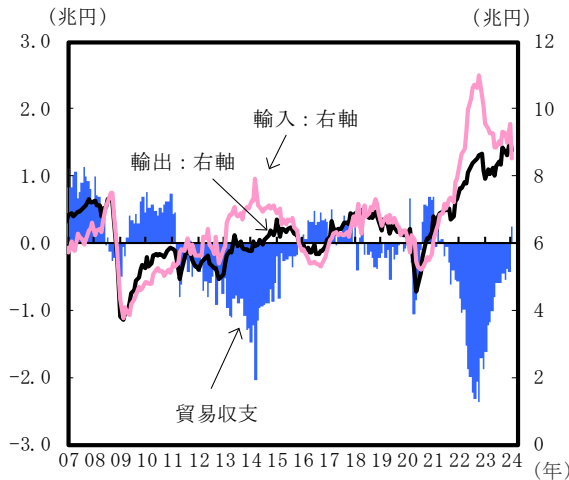
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは横ばい圏で推移するとみている。米国では大幅な景気悪化を伴わずにインフレが鈍化する「ソフトランディング」の確度が高まりつつあり、FRBは2024年央を目途に利下げサイクルに入るとみている。ただし、利下げによる景気浮揚効果の発現にはタイムラグを伴う傾向があるため、早期の利下げが実現しても急速な景気回復は期待しにくい。底堅い個人消費が日本からの輸出を下支えするとみているものの、自動車の挽回輸出が徐々に剥落することもあって輸出数量は伸び悩む見込みだ。

欧州向けは、域内経済の弱さを背景に緩やかな減少基調が継続するとみている。2023年10-12月期のユーロ圏の実質GDP成長率は、前期比年率+0.2%と低成長であった。ECBによる利下げ開始が予想されることもあって年後半には景気の回復基調が強まるとみているが、短期的に見れば日本からの輸出数量を押し上げる材料は乏しい。米国向けと同様に、自動車の挽回輸出が剥落する中で輸出数量は軟調に推移するだろう。

中国向けは緩やかな回復が続くとみている。中国では、総額1兆元の国債増発によるインフラ投資の押し上げ効果が2024年に本格的に発現するとみられるほか、懸念事項であった不動産不況に対しては民営デベロッパー向けの金融面・制度面からの支援策が発表されている。不動産市況の先行きには引き続き注意が必要だが、拡張的な財政政策と金融緩和策の下でおおむね前年比+5%程度の安定的な成長基調を辿り、日本からの輸出を呼び込むとみている。

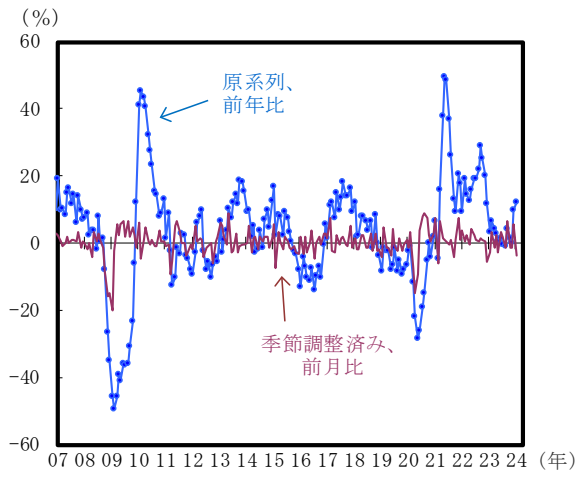
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

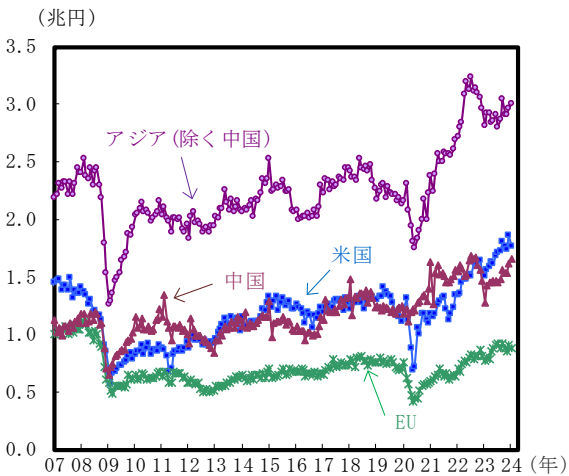


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

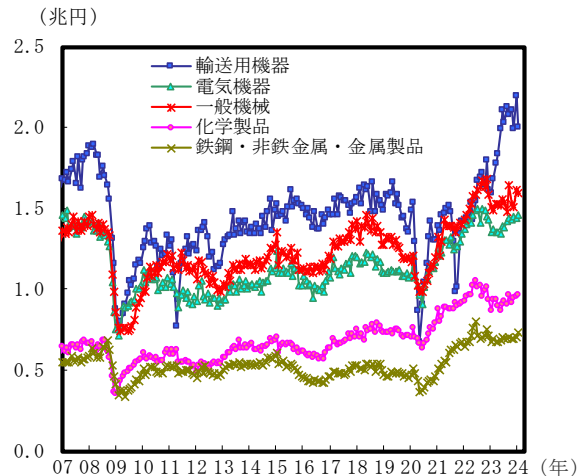


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

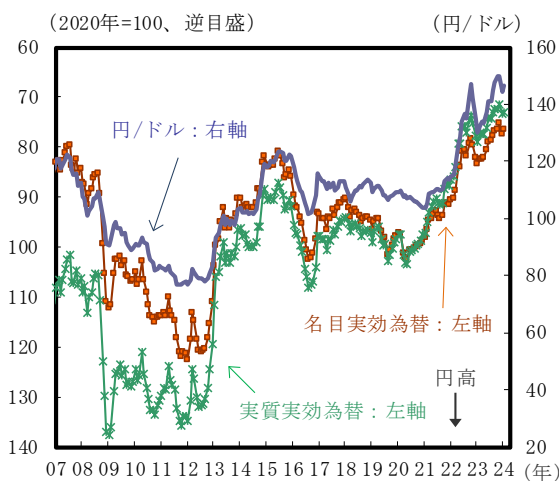


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

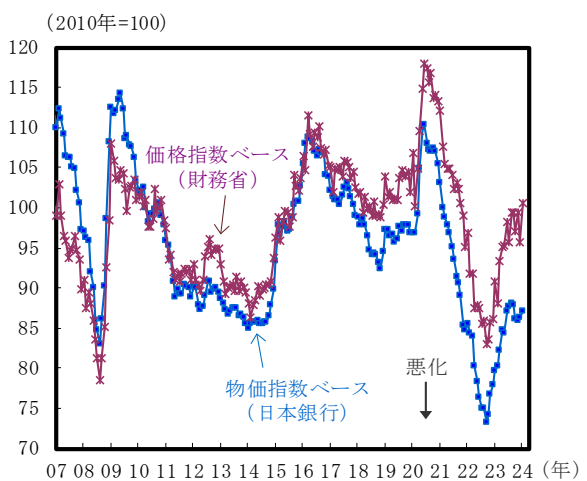


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.8	4.3	1.6	▲0.2	9.7	11.9	100.0	11.9
食料品	▲10.8	▲4.1	▲12.0	▲12.8	▲5.8	14.4	1.0	0.1
原料品	5.2	7.9	8.6	5.4	27.1	18.5	1.6	0.3
鉱物性燃料	▲63.7	▲22.7	▲12.6	▲1.6	▲21.3	▲32.7	1.7	▲0.9
化学製品	▲11.7	1.8	▲7.9	▲6.6	1.8	11.2	11.8	1.3
原料別製品	▲1.1	2.2	▲3.0	▲6.1	▲0.3	8.2	11.7	1.0
鉄鋼	▲3.8	▲1.1	▲3.1	▲11.6	▲6.4	7.2	4.7	0.4
非鉄金属	9.1	2.9	▲6.0	▲7.7	0.3	7.6	2.5	0.2
金属製品	1.0	0.7	1.6	3.5	6.8	10.3	1.3	0.1
一般機械	▲9.6	▲1.4	▲6.4	▲10.2	2.0	5.1	17.3	1.0
電気機器	0.2	▲4.0	▲3.8	▲0.3	1.2	7.6	16.8	1.3
半導体等電子部品	8.1	▲7.9	▲3.3	6.9	0.7	8.3	5.9	0.5
I C	15.7	▲9.8	1.8	13.7	5.6	11.4	4.5	0.5
映像機器	▲0.8	▲13.2	3.0	▲10.2	▲3.6			
映像記録・再生機器	17.0	2.8	9.3	▲5.3	3.3	12.3	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	▲15.7	▲10.0	▲9.6	▲4.7	▲2.7	3.9	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲9.6	▲7.7	▲12.9	▲12.4	▲6.9	▲4.4	1.9	▲0.1
輸送用機器	25.6	21.2	27.5	11.3	36.6	24.1	22.3	4.8
自動車	40.9	26.9	35.4	16.3	35.9	31.6	16.1	4.3
自動車の部分品	▲1.0	12.0	5.3	9.8	13.6	22.1	3.8	0.8
その他	▲1.3	6.6	▲2.3	5.2	11.4	20.3	15.7	3.0
科学光学機器	▲6.8	0.7	▲15.3	▲3.3	7.4	15.6	2.4	0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	5.1	13.0	8.5	5.3	20.2	15.6	100.0	15.6
食料品	7.8	49.4	22.4	33.6	22.7	9.1	0.9	0.1
原料品	▲47.6	19.8	▲46.3	▲30.0	▲17.3	▲14.4	0.3	▲0.1
鉱物性燃料	▲77.8	▲68.2	▲80.1	▲15.9	19.1	51.2	0.2	0.1
化学製品	▲25.3	12.8	▲16.7	▲6.8	22.5	22.2	10.2	2.1
原料別製品	▲2.2	12.1	8.0	▲1.6	▲0.2	▲1.4	6.9	▲0.1
鉄鋼	▲15.7	1.8	▲1.5	▲29.3	▲8.5	▲7.7	1.6	▲0.2
非鉄金属	4.6	25.8	17.7	▲6.9	▲22.2	▲29.6	0.8	▲0.4
金属製品	4.4	13.3	23.3	16.2	21.1	6.8	1.4	0.1
一般機械	▲4.0	6.4	1.3	▲7.2	6.4	5.4	23.4	1.4
電気機器	2.7	3.7	▲0.3	▲1.8	4.3	1.4	13.1	0.2
半導体等電子部品	2.4	▲12.0	▲1.1	▲1.0	0.1	2.5	1.3	0.0
I C	9.3	▲25.9	12.5	10.9	21.5	7.3	0.6	0.0
映像機器	▲17.5	▲16.7	▲4.2	▲15.9	▲8.6			
映像記録・再生機器	2.1	▲9.3	▲2.2	▲3.5	3.8	26.2	0.5	0.1
音響・映像機器の部分品	35.5	▲4.8	60.2	32.4	71.6	57.6	0.2	0.1
電気回路等の機器	▲6.4	9.7	▲5.1	▲5.2	0.3	3.0	1.3	0.0
輸送用機器	31.9	27.9	33.5	20.4	40.7	36.5	33.9	10.5
自動車	51.0	33.9	37.9	19.0	39.8	32.7	25.3	7.2
自動車の部分品	▲12.5	2.3	20.1	24.2	35.9	43.6	6.2	2.2
その他	2.5	2.9	▲1.1	8.3	24.3	12.3	11.0	1.4
科学光学機器	▲6.8	13.2	▲8.3	▲1.9	21.7	5.3	2.4	0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	12.7	12.9	8.9	▲0.0	10.3	13.8	100.0	13.8
食料品	16.8	▲12.7	▲10.2	2.1	21.7	5.8	0.5	0.0
原料品	▲4.4	▲20.4	▲8.2	▲0.0	13.4	41.4	1.2	0.4
鉱物性燃料	▲75.1	▲79.6	▲86.8	▲6.4	▲76.9	95.4	0.0	0.0
化学製品	▲15.5	▲0.7	▲10.7	▲5.7	8.7	▲2.7	10.9	▲0.3
原料別製品	28.1	20.3	▲6.1	▲25.5	▲3.5	▲6.9	7.3	▲0.6
鉄鋼	144.3	38.5	▲2.5	▲46.3	▲7.8	18.2	2.1	0.4
非鉄金属	8.9	12.5	3.4	▲27.9	▲23.1	▲53.0	0.9	▲1.1
金属製品	8.8	4.6	▲10.8	▲1.3	5.7	9.5	1.3	0.1
一般機械	1.0	6.9	1.1	▲18.6	▲15.6	▲4.8	19.0	▲1.1
電気機器	9.3	9.7	▲7.0	▲3.8	4.4	3.1	15.4	0.5
半導体等電子部品	15.1	18.5	▲3.5	11.2	5.1	7.2	2.2	0.2
I C	3.7	2.5	▲7.1	6.6	▲4.2	▲7.8	0.8	▲0.1
映像機器	16.3	2.3	2.9	▲27.2	▲11.6			
映像記録・再生機器	25.6	21.8	20.3	▲20.4	▲9.8	29.5	0.7	0.2
音響・映像機器の部分品	▲29.5	▲0.1	0.2	▲3.3	▲43.3	5.8	0.1	0.0
電気回路等の機器	2.9	5.1	▲7.4	▲14.2	0.8	▲3.2	1.5	▲0.1
輸送用機器	35.7	23.9	56.4	25.4	53.8	59.0	31.3	13.2
自動車	63.2	23.9	84.0	35.8	75.3	83.4	21.9	11.3
自動車の部分品	▲7.1	35.9	10.6	21.3	56.4	72.4	5.1	2.4
その他	19.2	20.1	▲3.3	3.1	14.6	11.1	14.4	1.6
科学光学機器	23.1	18.3	▲10.3	▲6.5	11.8	18.3	4.5	0.8

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.8	▲4.3	▲5.3	▲4.1	3.0	13.5	100.0	13.5
食料品	▲14.4	▲14.7	▲20.8	▲21.1	▲13.3	16.0	1.3	0.2
原料品	10.5	7.8	15.7	8.7	31.5	17.9	2.5	0.4
鉱物性燃料	▲61.9	▲25.0	▲3.2	27.6	▲13.6	▲34.2	2.1	▲1.2
化学製品	▲8.7	▲0.7	▲2.5	▲6.8	▲2.4	15.1	15.3	2.3
原料別製品	▲5.0	▲3.3	▲7.0	▲7.3	0.1	12.4	14.6	1.8
鉄鋼	▲12.7	▲7.2	▲10.6	▲14.4	▲7.3	2.3	5.8	0.1
非鉄金属	8.9	▲1.5	▲5.5	▲2.5	4.1	23.0	4.1	0.9
金属製品	▲5.4	▲5.7	▲7.5	▲0.7	4.8	20.2	1.5	0.3
一般機械	▲17.8	▲9.6	▲14.2	▲11.0	5.3	11.4	16.6	1.9
電気機器	▲3.5	▲9.1	▲5.5	▲0.1	▲0.1	9.8	21.7	2.2
半導体等電子部品	8.4	▲9.1	▲3.1	7.4	0.5	8.7	10.1	0.9
IC	16.1	▲9.7	1.6	14.0	5.2	11.7	8.0	0.9
映像機器	▲1.0	▲19.7	5.1	▲9.8	▲2.0			
映像記録・再生機器	20.1	▲0.4	18.7	▲4.2	12.3	▲2.6	0.2	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲20.3	▲13.1	▲19.7	▲15.5	▲1.8	7.5	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲13.2	▲12.7	▲16.5	▲14.8	▲9.7	▲6.0	2.6	▲0.2
輸送用機器	6.2	5.3	11.1	▲3.5	28.0	23.3	7.5	1.6
自動車	8.5	8.3	30.8	11.3	45.5	53.5	4.7	1.9
自動車の部分品	▲0.1	9.6	▲9.4	1.0	3.2	2.6	2.3	0.1
その他	▲7.8	1.8	▲5.6	▲0.1	2.3	25.2	18.5	4.2
科学光学機器	▲13.7	▲6.9	▲20.1	▲1.6	1.8	21.4	2.5	0.5

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲11.0	▲6.2	▲4.0	▲2.2	9.5	29.2	100.0	29.2
食料品	▲43.0	▲58.0	▲55.0	▲60.3	▲46.7	▲22.2	0.5	▲0.2
原料品	20.2	36.5	25.8	14.0	36.9	47.8	3.0	1.2
鉱物性燃料	▲64.3	111.7	3.7	87.5	50.6	64.9	1.8	0.9
化学製品	▲3.0	1.5	1.8	▲8.2	▲2.1	27.3	19.0	5.3
原料別製品	▲11.7	▲11.2	▲8.6	▲3.2	1.4	27.0	11.7	3.2
鉄鋼	▲27.8	▲20.2	▲23.3	▲14.5	▲13.1	▲0.5	2.8	▲0.0
非鉄金属	▲4.2	▲8.2	▲0.0	13.5	11.1	51.1	4.3	1.9
金属製品	▲6.7	▲12.1	▲6.7	▲6.6	2.3	30.7	1.6	0.5
一般機械	▲8.6	1.4	4.4	6.1	33.8	34.1	22.3	7.3
電気機器	▲5.1	▲15.1	▲13.5	▲9.8	▲7.1	9.7	21.1	2.4
半導体等電子部品	25.5	▲22.9	▲23.3	▲15.9	▲22.0	▲6.7	7.4	▲0.7
IC	39.4	▲27.2	▲27.8	▲21.9	▲29.2	▲17.2	5.3	▲1.4
映像機器	▲15.9	▲33.0	0.5	▲18.3	▲13.9			
映像記録・再生機器	8.4	▲12.4	55.8	▲16.1	17.6	▲51.2	0.1	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲28.6	▲30.8	▲34.3	▲34.0	▲20.8	▲8.7	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲16.5	▲17.8	▲19.8	▲12.5	▲4.9	▲0.2	2.9	▲0.0
輸送用機器	▲5.8	4.6	14.4	14.2	54.8	80.4	7.0	4.0
自動車	▲2.3	7.6	31.8	18.2	78.7	111.4	4.9	3.4
自動車の部分品	▲16.8	▲3.6	▲11.5	6.6	15.4	29.3	1.8	0.5
その他	▲29.4	▲22.0	▲16.0	▲7.9	▲1.4	39.8	13.6	5.0
科学光学機器	▲17.6	▲1.5	▲14.8	▲0.8	8.9	37.0	3.3	1.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成